



株式会社 藪野興業の皆さん

株式会社 藪野興業

REAL4を駆使してコストダウン、  
利益率改善を実現！  
会社を劇的に変革したREAL4導入

お客様の声  
03

REAL4を駆使することでコストダウンを実現し、業務の流れを変え、利益率の改善を実現。手掛けた工事を若い従業員がツイッターで発信するなど、若い力の刺激にもつながっています。REAL4の導入効果について藪野良徳社長にお話をうかがいました。

2013年12月にREAL4を導入されたときの導入理由を教えてください。

社長：それまで図面を書いてくれた図面屋さんが体調を崩されたことや、原寸にかなりの時間がかかっていたことに加え、鉄骨も安値になり、何とかコストを削減したい、改善したいと思ったのがきっかけです。

導入に際して比較検討されましたか？  
決め手は何でしたか？

社長：3社のCADを検討し、1年くらい考えましたね。決め手は、専用CADの中で型紙を修正ができ、自分の思う形にできることが大きかったです。汎用で修正するとデータが無駄になってしまうので。使いやすいそうだったこと、サポートも良さそうだったことも決め手の一つ。実際にサポートはすごくいいですね。いろいろと教えてもらい、応用の幅が広がっています。

導入後、変化がありましたか？

社長：劇的に変わりました。導入したからには最大限使いこなして、もてをたらなければ、それにはまず自分ができるけれど、年末に導入して講習を1、2回受けた後は正月休みの間に独力で覚えました。負けず嫌いなんですよ。1月に胴縁がいっぱいあったんですが、2月には建てることができ、これは間違いないなと。その後、こんな難手、やったことがない



藪野良徳社長

というようなものもREAL4ででき、こんなこともできるんだと。今では階高や納まりがややこしいものでも、確認しながら3日ぐらいではほぼ型紙も全部できる状態で入る。一から原寸をとっていたら1週間10日かかっていたようなことが、今はボタンを押せば型紙が数十秒で何千枚も出てくる。発注するまで1日2日で資料を全部まとめられる。本当に助かっています。

導入してもうすぐ3年ですね。

社長：どんなものでも、どうにかしたら入れられるんじゃないかとREAL4を駆使しています。REAL4は簡単だけど、奥が深いですね。覚えれば覚えるほどコスト削減につながる。図面の外注費がからなくなったことに加えて、導入前だったら断っていた値段の仕事でも、今は以前より早く終えて次の仕事の準備に移れるので、受けることができる。汎用しかなかったら原価は落とせませんでした。損益分岐点が変わったんです。導入するときは悩みましたが、今は導入してホンマに良かったと思うし、だから人にも紹介しているんですよ。

専用と汎用の割合は？

社長：99%専用で、ほとんど汎用は使いません。

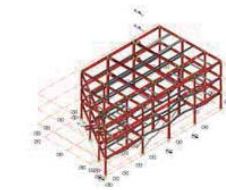
どんな点が便利ですか？

社長：いろいろありますが、区分けの機能は便利です。以前は作ったものを仕分けしていく形でしたが、今は加工の段階からクレーン・出荷・建て方の段取りを考えて作れるようになりました。

リアルタイムで見られる3D。どう活用していますか？

社長：入力したものが合っているのか、確認使っています。打ち合わせにしても、今はメールで送って、3D画面を見てもらいながら電話で確認

してもらったり、スマホで3Dを見せながら確認してもらったりすることもあります。質疑応答のために出かけていくことが減り、結論も早く出してもらえようになり、助かっています。



上/物件3D、階段もREAL4で入力。下/「手はかかったけれど面白い仕事でした」と藪野社長。

特殊部品の機能は使っていますか？

社長：使っています。エレベーターファスナーとか曲げの鉄板とかも特殊部品を使って入れています。

REAL4の導入によって他に变化したことがありますか？

社長：残業がなくなったことですね。以前は工場を待たせる状況だったんですが、今は待たせることがなくなり、僕の方は常に次の物件、次の見積もりをやっている状況です。また、加工単品図が出て何をどれだけ作ったらいいかが分かるので、休日をちゃんと休みながら納期に間に合わせるためにはどうすればいいか、みんなで話し合っ決めてようになりました。例えば残業を1時間ずつやったら日曜を休めるな、とか。REAL4は、労働環境を整えるきっかけ

にもなったわけです。以前もほとんど間違いはなかったけれど、今の方が間違いはないし、早い。図面力、原寸力も上がり、受ける仕事の幅も広がりました。

今後への抱負を。

社長：これからもいい品物を作りたいですね。この仕事は人が大事です。ただ加工単品図を作ればいい、ものをくっつけばいいというものじゃない。だから、従業員には小さい金物とかもやらせて、自分で形を作らないと分からないことを学んでほしいと思っています。若い子を育てるには、昔のような「見て覚え」ではなく、どんどんやらせて興味を持たせることからだと思っています。人から言われて作るより、自ら考えて作る方が絶対面白いですからね。興味を持った者にどんどんやらせてみて、スピードが上がらない分は、みんなでカバーしていく。REAL4も今、若い子に少しずつ練習させていて、やってみたいと言っている息子にも教えていると思っています。今は友人たちと一緒に工場で頑張っていて、鉄骨のことが一通りかかったら、やらせようと思います。若い子たちと飲みながらよく話も聞いています。従業員のために、いかに残業を減らし、賃金を上げられるか、そのためにもREAL4は絶対必要だと思います。



株式会社 藪野興業

代表取締役 藪野良徳  
〒555-0041  
大阪府西淀川区中島2-1-127  
☎06-6475-3667  
Rグレード/REAL4:2013年12月導入